

あなたがここにいるから・・・

朝夕はまだ過ごしやすいですが、日中、晴れ間から注ぐキラキラとした光には、夏がすぐそこまで近付いてきていることを感じます。個人的には、もう少しさわやかなこの季節を楽しみたいと思っていますところですが・・・。来週は、いよいよ6月です。

うれしい移動図書館・・・。

先日、西海市から移動図書館がやってきました。

会場の玄関ロビーは大盛況。目を輝かせながら本を選ぶ雪小っ子の姿があちらこちらで見られました。



両脇に本を抱えて教室に戻る子供の表情は、とてもうれしそうでした。

新体力テスト、がんばりました。

雲一つない青空の中、今年も新体力テストに挑みました。例年行われるこのテストですが、テスト項目は、次の8つです。

- | | |
|---------|-----------|
| ①上体起こし | ②長座体前屈 |
| ③反復横跳び | ④50m 走 |
| ⑤立ち幅跳び | ⑥ソフトボール投げ |
| ⑦シャトルラン | ⑧握力 |

当日は1年生から6年生までの縦割り班ごとに各項目に挑戦しました。この縦割り班で回るというのも、本校ならではのよさであり、子どもたちはそれぞれに昨年との記録の違いに伸びや悔しさを感じながらも、高学年は低学年にお世話やアドバイスをし、低学年は高学年の姿や記録に「すごい！」と憧れを抱くなど、テストを通じて様々な学びを得ることができている様子でした。

さて、当日感じたことが一つあります。

前述した8項目のうち、もっとも個人差が大きかったのが、「ソフトボール投げ」でした。



学年を問わず、体全体を使って投げることができる子供もいれば、投げる手と足のバランスや体重移動がうまくできていな

い様子も見受けられました。

確かに「遠くに投げる」という動作は、現代の日常生活においては、あまりないように感じます。生活環境や遊び方の違いもあり、私の子供のころと比べても、そうした動作が行いにくくなっているように思います。今後、学校では、体育や遊びを通して、雪小っ子にできるだけ多く「遠くに投げる」経験をさせていきたいと思っています。

8項目の個人記録は後日お返しいたします。ぜひ、親子で目を通され、話題にしてください。

ことしも秀逸ぞろいです。

今年度も雪小っ子による俳句創作活動が始まりました。雪小っ子には、この活動を通して季節や自然を感じる心をより一層養うとともに、それぞれの語力や表現力を高めてほしいと願っています。



本通信の裏面に全校児童の「春の俳句」を掲載しております。また、バス停近くの運動場横フェンスにも掲示したところ、早速多くの地域の方々が足を止めてくださっています。

（文責 校長）

※裏面に雪小っ子の「春の俳句」を掲載

春の俳句

ぼうるなげとおくへとんだはるのそら	いわした あきら
うれしいなみんなでさつかあはるのそら	おおさか けんと
おにごっこつかまらないぞはるのかぜ	こささ あゆな
ぼうるけりたのしいはるのひるやすみ	ふちせ そうま
うんどうじょうあそぶのたのしいはるのあさ	みぞぐち こうた
はるのうみさかながいつばい大さわぎ	大賀 南実
春の空じてん車こいでそとあそび	久保 拓都
入学しき一年生たちおめでとう	武宮 慶
入学しき一年生はときどきだ	田畑 つゆ葉
ははの日でお手がみあげたありがとう	藤崎 玲奈
こいのぼりやなぎでいつばいおよいでる	堀川 吟
春の朝赤ちゃんかわいいモンシロチョウ	市場 心雀
遠足でおにぎり食べたにっこりだ	宿輪 巽心
春の雨 雲が光って 顔を出す	高野 雪
ランドセル色でまよった弟が	瀨瀬 織音
春の風すなばを走る気もちいい	堀川 蒼二郎
えんそくでしりもちついたよわらったよ	松林 紗耶香
お花たちどんどんおきる春の朝	松本 桜優奈
モンシロチョウキヤベツの表面たまごある	水口 蒼馬
クローバーテントウ虫が花みたい	吉岡 文美
弟とランドセルからい学校へ	岩下 結
上を見てツバメがとまった春の朝	田畑 一休
春の海すなはま走るおにごっこ	坪川 結喜乃
つばめたちす作り大変空見あげ	松岡 終
桜ちりモモ色いかだサラサラと	湯川 歌海
がんばって巣作り大工ツバメ達	久保 恵陸
親つばめ卵を産んだらもう春か	小橋 旺太郎
春の池メダカの赤ちゃん観察だ	宿輪 亜心
いつせいに咲くさくら散る舞うさくら	田平 翔稀
もも色のさくらがさいて新学年	永井 桃愛
屋根の上うぐいすの声目覚めました	西尾 翔
風よふけ花びら舞い散る桜道	堀川 妙
うぐいすが朝アナウンス耳すませ	水間 友理
清明の空をいろどる桜かな	市場 孔雀
アサガオの小さな芽を出す穀雨かな	大賀 美空
清明の明るい空気すぐそこに	松岡 いと